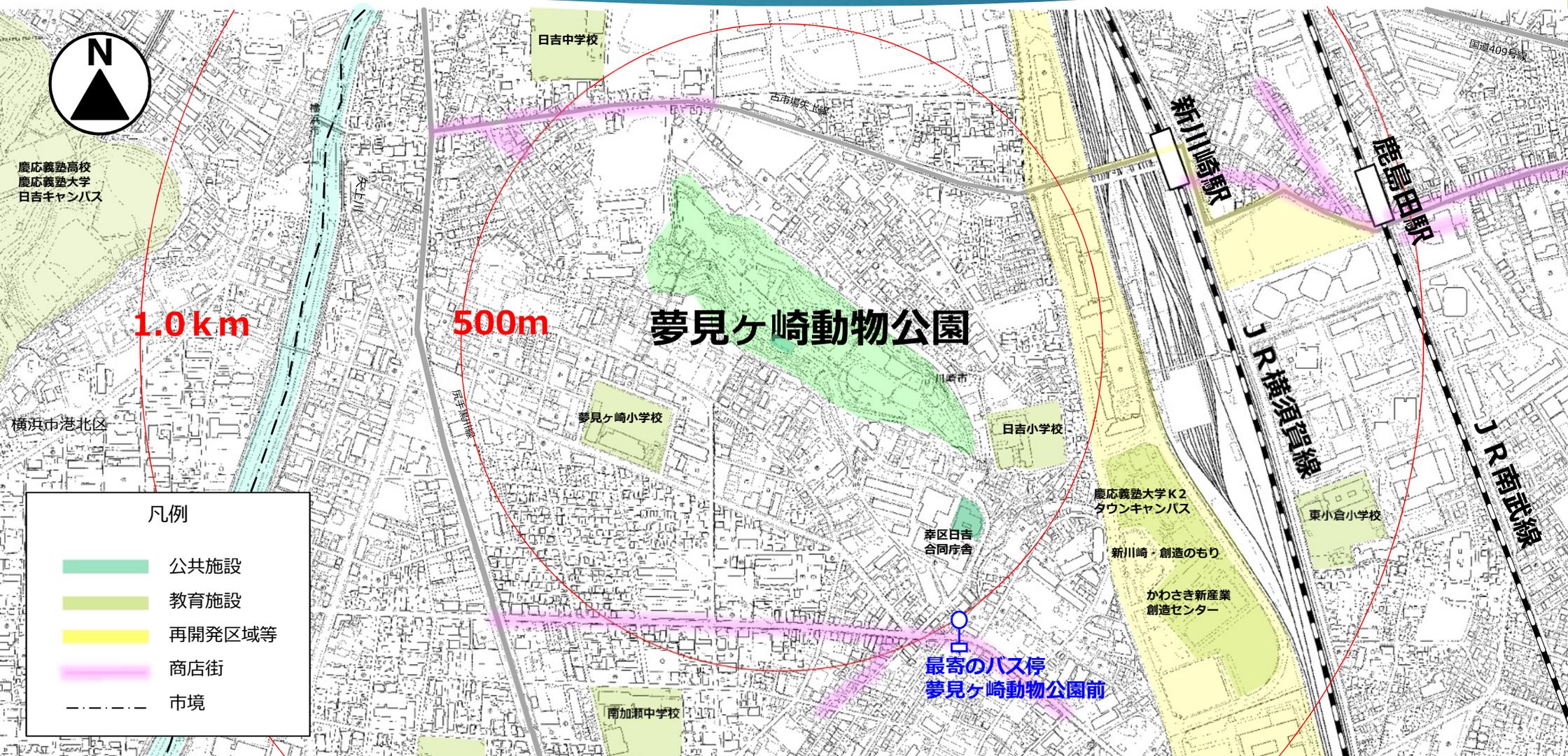


夢見ヶ崎動物公園の持続可能な 管理運営手法の構築

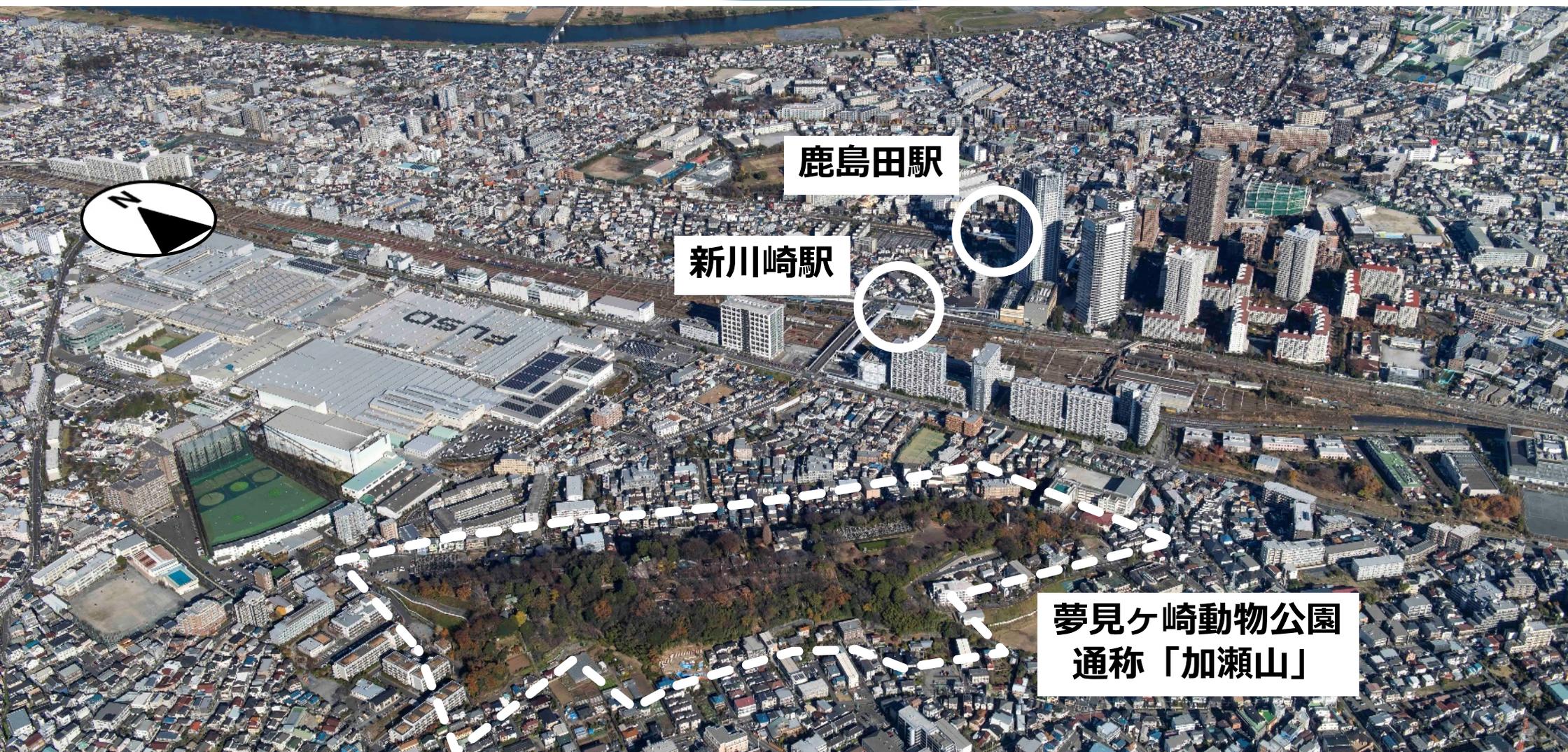
1 夢見ヶ崎動物公園の立地



1 夢見ヶ崎動物公園の立地



1 夢見ヶ崎動物公園の立地



1 夢見ヶ崎動物公園の立地

公園は標高35mの小高い丘にある



北西側から撮影



南西側から撮影

2 夢見ヶ崎動物公園の概要

来歴

昭和25（1950）年 公園を開設

昭和47（1972）年 政令指定都市移行を記念し動物コーナーを設置

昭和49（1974）年 「夢見ヶ崎動物公園」の名称を使用開始

公園種別

都市公園法に基づく地区公園

管理面積

約6.6ha

（動物園エリア約1.1ha、公園エリア約1.1ha、里山樹林エリア約4.4ha）

2 夢見ヶ崎動物公園の概要

展示動物

57種329点（令和4（2022）年7月現在）

動物一覧紹介：<https://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/30-26-3-1-0-0-0-0-0-0.html>



来園者数

年間20万人前後 ▶ 春秋季多・夏季少 ▶ 休日多・平日少

入園料

動物園エリアを含む公園全域で無料

駐車場

25台収容、駐車料無料



2 夢見ヶ崎動物公園の概要

職員数

16名（園長、事務員、獣医、飼育員※） ※非常勤職員を含む

年間経費

約1億5,100万円

- ▶人件費：約1億円 ▶飼育診療費：約1,100万円
- ▶光熱水費：約2,700万円 ▶維持補修費：約700万円
- ▶事務費：約600万円

業務内容

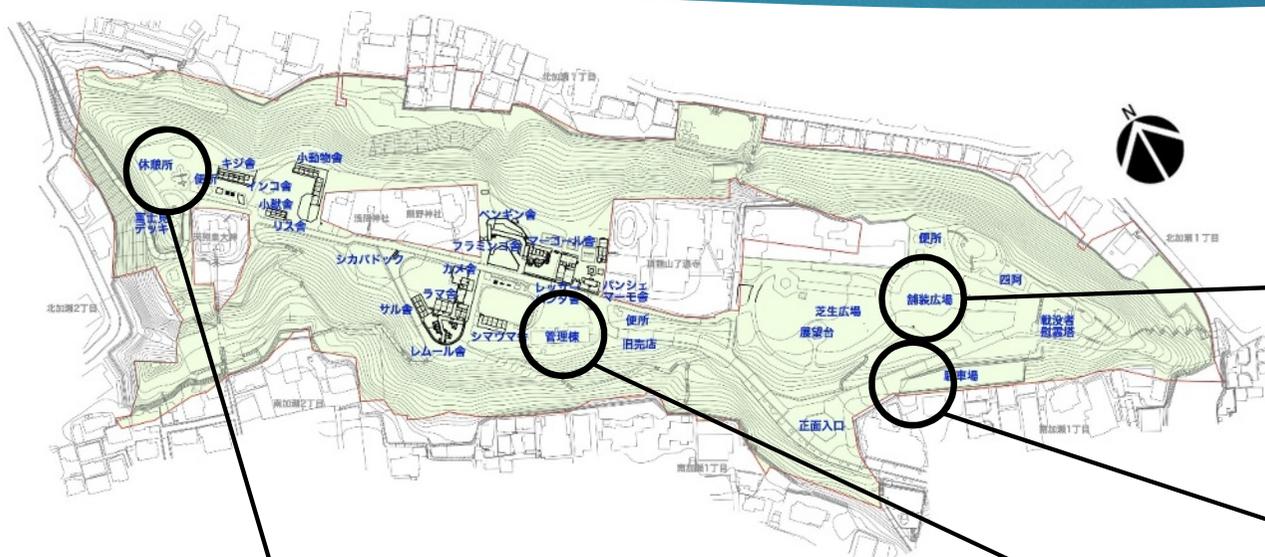
- ・展示動物の飼育、診療
- ・希少動物の繁殖
- ・負傷野生鳥獣の保護
- ・体験学習等の受入れ
- ・施設、樹木等維持管理
- ・市民協働業務の調整
- ・イベント企画
- ・その他

2 夢見ヶ崎動物公園の概要

夢見ヶ崎動物公園平面図



2 夢見ヶ崎動物公園の概要



多目的利用可、車両進入可の広場



広場に遊具・休憩所があり子供連れが多い



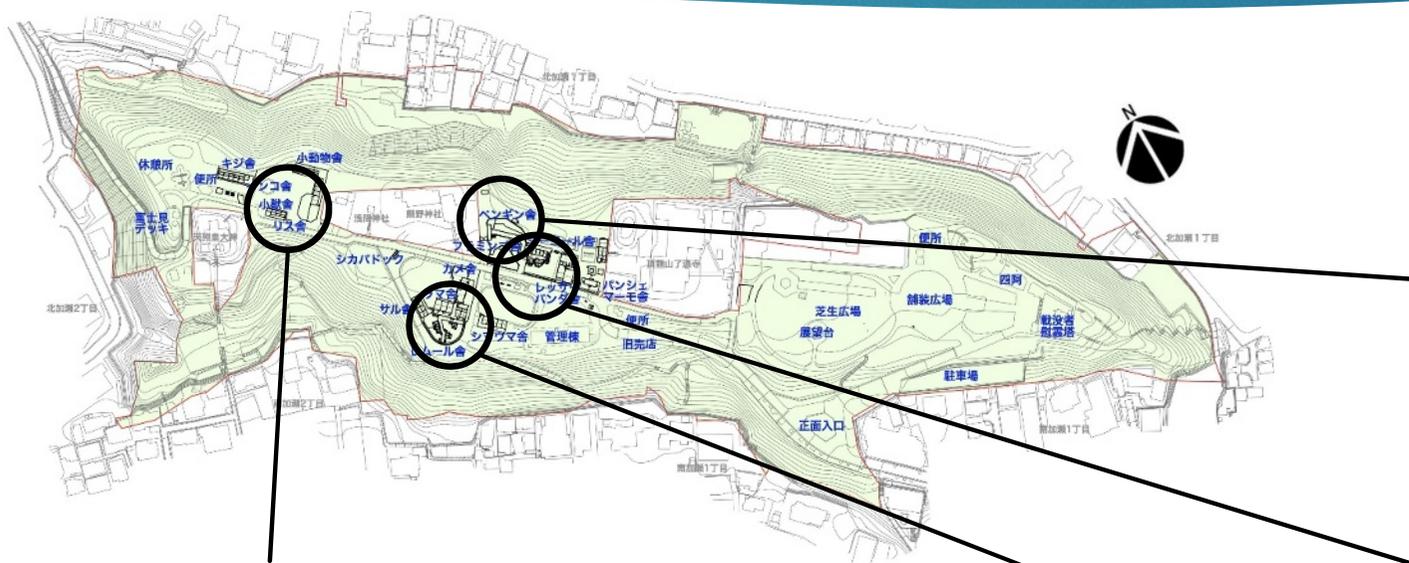
事務所機能のほかトイレ・自販機を設置し開放



普通車は下段、バスは斜路に駐車する



2 夢見ヶ崎動物公園の概要



ペンギン用の水槽があり、泳ぐ姿を観覧できる



ヤギ、小動物、鳥類等を観覧できる



サルがぶら下がる、よじ登る等の活発な動きを観覧できる



中央園路。寺社への車両通行路になっており、夜間閉鎖は不可能



3 夢見ヶ崎動物公園における取組

イベント・プログラム▶

動物とふれあえる「動物園まつり（春・秋）」

参加者各回5,000人程度※

飼育現場の裏側を知る「飼育の日」

参加者各回3,000人程度※

飼育を体験する「サマースクール」

参加者15人程度（小学5,6年生から公募）※

お気に入りの動物へ「年賀状コンクール」

応募者例年50～100通程度

※近年は新型コロナのため中止

ゆめみらい交流会▶

動物公園・地域の関係者が、動物公園の魅力を高めるために語り合う場



3 夢見ヶ崎動物公園における取組

Facebookにおいて動物の日常を発信

<https://www.facebook.com/yumemigasakizoo> →

広報 ▶



情報誌「**ゆめみにゅーす**」を発行

<https://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/30-26-6-0-0-0-0-0-0-0-0.html> →



夢見ヶ崎動物公園サポーター ▶

動物公園を支援いただく個人・団体等を広く募集

- **属性**：個人（学生・農家・イラストレーター他）、NPO法人、教育機関、商店街連合会、バス事業者等
- **支援内容**：イベント運営の手伝い、園内の植栽管理、傷病野生動物の保護の支援、動物の飼料購入や施設整備に関わる寄付等



3 夢見ヶ崎動物公園における取組

クラウドファンディング▶

動物の健康維持管理と安全確保のために動物用医療機器の充実をプロジェクト化して寄付金を募ったところ、438人から4,741,000円の支援あり



◀動物公園では、動物展示だけではなく、野生傷病動物の保護も行っている



4 夢見ヶ崎動物公園の再整備

今後のスケジュール

R4	R5	R6	R7	R8～
		指定管理者等 公募予定	指定管理者等による管理開始予定	
<ul style="list-style-type: none"> • (仮称)パークセンター(現・管理棟)の新築(R6完成) 管理事務所機能に、多目的室や授乳室、多機能トイレ等を備え付ける • 動物舎の補修 老朽部分の補修とカラーリニューアルを一部動物舎で実施 • 東側エリアの園路補修 広場内園路の不陸整正 • 東側エリアのトイレリニューアル 誰もが快適に使用できる間取り・設備を導入 				
			再整備計画 策定	
			再整備計画に示す 園全体の ランドデザインに 基づき 再整備を進める	

4 夢見ヶ崎動物公園の再整備

動物公園の将来に向けて

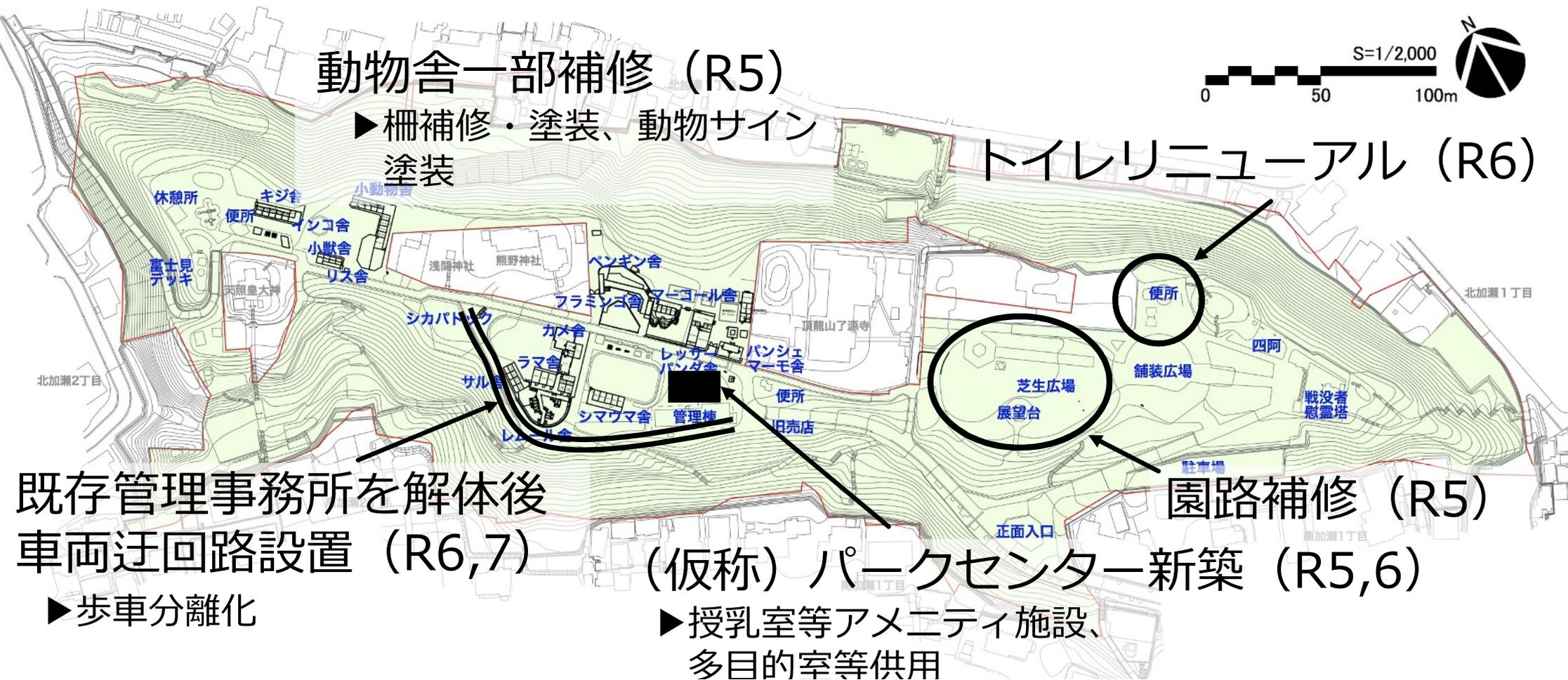
- 来園者の快適性・利便性を高める施設リニューアルを進める。
- 多様な主体と連携した賑わい創出の取組を進める。
- 動物福祉の視点に基づく動物種数の適正化と園内ゾーニングを検討する。

現時点で想定する条件・検討項目

- 展示動物等の生育環境の著しい改変は原則不可（民間ノウハウで課題解決できる場合は可）
- 入園料は無料を維持するが、園内で有料ブースを設ける余地はある。
- 獣医業務・飼育業務を含め、賑わい創出に向けた収益施設導入、イベント運営、広報等に連携いただける事業者を探りたい。
- 駐車場周辺の工作物を取り壊すなどにより、追加で20台程度の駐車スペースを確保可能。様々な課題を整理し、駐車場の有料化を検討したい。
- 施設修繕や樹木剪定等、施設維持管理業務の水準向上を図るため、官民の協働・分担項目を把握したい。

4 夢見ヶ崎動物公園の再整備

先行整備位置図



5 ご意見・ご提案をお聴きしたい事項

※これらの項目について、様々な側面からご意見を頂ければ幸いです。
一部へのご意見・ご提案でも構いません。

● Park-PFI制度導入の可能性

▶ 特定公園施設の範囲 ▶ 公募対象公園施設と収益性 ▶ 期間

● 指定管理者制度導入に向けたアイデア

▶ 施設の利用料金化の可能性 ▶ 指定管理業務内容（公園全体、公園一部、駐車場管理など） ▶ 駐車場の適正台数や利用料金化の可能性 ▶ 官民の役割分担と費用負担 ▶ 管理水準向上のノウハウ

● 既存（新設予定）施設の有効活用

▶ 新築する（仮称）パークセンターをはじめ、動物園、広場やみどり資源等を活用したイベント、教育プログラムの発想

● 魅力的な空間づくりアイデアや情報発信の手法

● ネーミングライツ導入の可能性